令和８年度　共同生活援助事業所わらしべの家 地域連携推進会議　議事録

期　日　：　　令和８年１１月３日（火）１４：００～１５：００
場　所　：　　わらしべの家 食堂
構成員　：　　利用者代表　１名
　　家族代表　１名
　　地域住民兼福祉に知見のある者　１名
事務局　：　　４名（理事長・施設長・生活支援員２名）

内　容

１　施設見学

・グループホームへ移動し、施設全体を見学した。

２　開会

・施設長が開会の挨拶を行った。

３　理事長挨拶

・理事長が開催にあたり挨拶を行った。

４　議事

（１）共同生活援助事業所わらしべの家　事業の運営に係る状況報告について

・施設長が、別紙資料に基づき事業の運営状況を報告した。

・続いて、理事長が直近の状況について、次のとおり補足説明を行った。

①　防災訓練について

１０月に利用者と職員全員が参加し、大規模地震とキッチンからの出火を想定した防災訓練を実施した。利用者は各居室の掃き出し窓から避難し、職員は初期消火の方法、非常ベルや消防署への直通電話の使用方法、小型発電機の使用方法を確認した。

②　グループホームの食事について

１０月から、食材が届きホームで調理する配食サービスを試験的に利用している。栄養バランスや献立の充実、買い物等の負担軽減の観点から、継続利用を検討している。利用者からは「量が少ない」「今までとは違うものが食べられてうれしい」などの感想が聞かれており、量を補うための具材を常備して対応する予定である。

・その後、各委員から次のとおり質問・意見があった。

【地域住民兼福祉に知見のある者】

質問　利用者同士でトラブルになることはあるか。

回答　気持ちの行き違いなどからトラブルになることがあり、その都度、職員が間に入って対応している。最近も利用者同士で口論になったことがあったが、職員が仲裁し、和解することができた。

意見　近隣に大型スーパーができて以降、交通量がさらに増え、速度を出して走行する車も増えたように感じる。利用者が買い物等に外出する際には、交通安全に十分注意してほしい。

【家族代表】

質問　最近、子どもから防災リュックを購入してもらったと聞いたが、詳細を教えてほしい。

回答　栃木県の補助金を活用し、各居室に防災リュックと非常時用のＬＥＤランタンを設置した。災害発生時には、防災リュックを背負い、ランタンを持って避難することとしている。

質問　週末の昼食について、月に数回、利用者が自分で用意する日があるが、大雨や台風などの荒天時はどう対応するか。

回答　荒天時は、世話人による弁当の用意に切り替えたり、事前に総菜パンを用意したりして対応している。また、身体機能の制限等により自分で買い物に行くことが難しい利用者には、カップ麺や菓子パンなどを用意して対応している。

意見　先日、相談支援専門員と「親亡き後」について話す機会があった。グループホームでも、将来について話を聞ける機会があるとよい。

５　閉会

・理事長が閉会の挨拶を行った。

以上で、地域連携推進会議は終了した。